

発刊にあたって～淀川地域にお住まいの皆さまへ

平素は、地域の「安全：安心：住み良いまちづくり活動」にご協力をたまわり厚くお礼申し上げます。

現在、淀川地域では、防災、防犯・防火・交通安全、子育て、環境、文化、スポーツ、社会福祉全般にわたり、自主的活動を推し進めているところであります。

とりわけ「防災活動」は、皆さまやご家族の生命に直結するものであり、これまで防災訓練を繰り返し実施し、地域で助けあう取組みを進めてまいりました。

この計画は、淀川の地域特性をふまえ、住民の皆さまにはご自分の避難場所や平時からの備え等をお知らせするものになっています。

どうか緊急災害発生時の手引き、参考書として身近に保管し、閲覧いただきますようお願いいたします。

さらに皆さまの防災意識向上の一助となれば幸いかと存じます。



淀川地域活動協議会
淀川連合振興町会
淀川地域防災リーダー

淀川地域の災害対策・避難所の運営組織地域の災害 対策・避難所の運営組織地区防災計画の目的・方針

地区防災計画とは

大阪市では、災害対策基本法に基づき、被害を最小化し、迅速な回復を図る「減災」の考え方を防災の基本理念とし、「[大阪市地域防災計画](#)」を見直しました。



大阪市地域防災計画

また、平成27年2月1日に[大阪市防災・減災条例](#)を施行し、市民等の生命・身体・財産を災害から保護するため、市のすべきこと（公助）、市民・事業者の方々にしていただきたいこと（自助・共助）の仕組みづくりを推進しています。



大阪市防災・減災条例

地域の住民や事業者の方々の地域防災活動に関する内容を定め、地域での防災訓練の実施や、食料や水等の備蓄、高齢者等の避難支援など、地域の自発的な「共助」による防災活動を記したものが、「地区防災計画」です。

この防災計画の対象となるのは

ひとくちに大阪市といっても地域によってさまざまな特性があります。この防災計画では、淀川地域（おおむね淀川小学校区）にお住まいの方、またはお勤めの方などが活用できるよう構成しています。

この防災計画をより活用していただくために

この防災計画は、都島区役所のホームページにも掲載しています。スマートフォンをお持ちの方はダウンロードして持ち歩けます。



淀川地区防災計画

都島区の特徴と予想される被害

(南海トラフ巨大地震) 都島区における津波浸水の被害想定

平成25年8月および10月に「大阪府防災会議 南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会」で、被害想定が公表されました。その結果、都島区でも一部の地域が浸水区域に入りました。

大阪市の湾岸部には地震発生から2時間弱で津波の第一波が到達し、最悪の想定の場合、河川堤防がこわれたり、津波が川をさかのぼったり、被害をおよぼす恐れがあるとしています。

(平成25年10月30日公表)

(区の人的被害)

被害状況	死者数
揺れ	17人
火災	1人
屋内落下物	3人
津波	153人

淀川地域

津波被害による死者数

0人

地震発生から10分以内に避難を開始した場合

(区の物的被害)

被害状況	全壊	半壊
揺れ	423棟	2,411棟
津波	19棟	1,411棟
液状化	2,012棟	4,224棟
火災	11棟	



淀川地域の予想される被害

淀川地域では液状化現象による建物被害が予想されています。災害が起こった場合は情報を得られるように、また、落ち着いて避難行動がとれるように日頃から備えておきましょう。

(上町断層帯地震) 予想される被害 (平成19年公表)

	人口	世帯数	死者数	負傷者数	り災者数	避難者数
都島区	107,904人	56,944世帯	383人	1,105人	48,129人	15,883人
淀川小学校区	7,702人	3,582世帯	37人	80人	4,323人	1,426人

※なお、人口、世帯数は令和2年国勢調査による

	建物数	全壊棟数	半壊棟数
都島区	14,909棟	6,676棟	2,872棟
淀川小学校区	1,313棟	614棟	243棟



(東南海・南海地震) 予想される被害 (平成19年公表) (被害想定)

	死者数	負傷者数	り災者数	避難者数
都島区	4人	586人	5,028人	1,659人
淀川小学校区	0人	37人	316人	104人

	建物数	全壊棟数	半壊棟数
都島区	14,909棟	451棟	899棟
淀川小学校区	1,313棟	28棟	59棟

淀川地域の予想される被害

(風水害) 予想される被害

淀川地域は、大雨になると浸水する恐れがあります(1000年以上に1度発生するであろう総雨量683mmを想定)。※寝屋川流域河川



歩行可能な水の深さの目安